

令和3年度 駒沢レストラン売上還元事業実施一覧

18件

	実施箇所	事業内容		
1	駒沢オリンピック公園	■地域・レストラン協カイベント実施 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、イベントとしての「駒沢ファンタジア」は中止となったが、代替として駒沢オリンピック公園では初のオンラインイベント「駒沢ファンタジア・オンライン」を開催した。	支出 ￥1,684,735	
2	駒沢オリンピック公園	■避難生活における健康維持のための講座 避難所における感染症にクローズアップして、感染対策や避難所生活での健康維持等の講座を実施した。なお、対面での実施の予定だったが、コロナウィルスの感染が拡大したため、急遽セミナー動画を作成し、ウェブでの配信で行った。	支出 ￥31,470	
3	駒沢オリンピック公園	■近隣町会等地域住民との合同訓練 レストランでの災害時対応をより実践的にできるようにするため、駒沢公園で実施された、防災訓練に参加し、協力者となりうる近隣住民へ、Mr.FARMERに備えてある防災グッズの紹介や、発電機などを動かすなどのデモンストレーションを行い、近隣住民や自治体との関係を深めた。	支出 ￥0	
4	駒沢オリンピック公園	■乳幼児、介護の必要な方など、支援の必要な方たちに特化した防災関連ワークショップ NPO法人と協力して、乳幼児の避難所での過ごし方などを紹介する「赤ちゃんとママの防災講座」をオンラインで実施した。なお、配信はMr. FARMERのテラス席から行い、Mr. FARMERの紹介も行った。	支出 ￥64,086	
5	他公園(オリ・パラ機運醸成事業)	■オリ・パラ機運醸成事業の実施 オリンピックパラリンピック2020でライブサイト会場となる井の頭恩賜公園でオリパラ関連イベントの装飾などを行い、機運醸成を図る予定だったが、ライブ会場が中止となったため、代替として、日比谷公園にて「夏のおもてなしガーデン」として、花壇の整備を行い、オリパラの機運醸成に貢献した。また、期間終了後、植替え可能な草花については駒沢オリンピック公園西口花壇に移植し、有効に活用した。	支出 ￥1,857,702	
6	駒沢オリンピック公園	■防災グッズの制作 好評を得ている「防災手ぬぐい」を作成し、地域住民に配布した。	支出 ￥426,250	
7	駒沢オリンピック公園	■災害時対応設備等の拡充・維持管理等 ・レストラン前植栽の補植 ・防災備蓄品等買替 ・補充分防災備品等追加分 ・Wi-Fi費用 ・IP無線費用 等	支出 ￥1,741,685	
8	小山田緑地	■小山田緑地の里山維持形成に関する取組 小山田緑地において都民協働で枚とり取り組んでいるコメ作りの方法、用水のネットワーク、田んぼを維持してきた地域の歴史についてなどを紹介する小冊子を作成する。近隣小学校の環境教育の副読本として今後活用し、地域の農家とのコミュニケーション形成にも役立てた。	支出 ￥453,198	

9	大神山公園	■バイオ・アース映画祭 映画館のない父島において、世界自然遺産の島の公園にふさわしい、世界から集められた自然や野生生物等の映像作品を上映し、自然環境保全への意識の醸成と映像の感動を主に島民に伝えることを狙い令和元年度より開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、映画観賞会は中止。パンフレットを配布にし、自然環境意識の醸成を図った。	支出 ￥275,000	
10	小峰公園	■里山賑わいプログラムの実施 「多摩の里山見本園」をコンセプトに運営する小峰公園が令和2年に開園30周年を迎えることを記念して、里山資源を活用しながら豊かさや賑わいを創出するイベントを令和2年度に実施したが、本年度は近隣の方々のために収穫市を開催、稲作体験等のイベントを実施しさらなる地域振興と満足度向上を図った。	支出 ￥603,423	
11	小峰公園	■映像展示の作成 小峰公園で見られる様々な風景や動物を用いた映像を作成し、小峰公園の周知をはかり、インターネット上でも視聴可能にする。館内での映像展示、イベント時の上映、ビジターセンターでの動画撮影などを行い、魅力向上と利用促進を図った。	支出 ￥56,991	
12	東大和南公園	■みなみこうえん祭り 新型コロナウイルス感染拡大防止のため公園でのイベントは中止。アプリによる「探検！東大和南公園～うまべえからの挑戦状～」を配信した。親子連れや子供だけでなく、大人だけで参加する方もいた。公園以外の場所でチラシやポスターを見て参加したという方も多く、地域連携により公園に賑わいをもたらすことができ、公園協会アプリに新たな利用者層を形成することに成功した。	支出 ￥787,402	
13	武蔵野の森公園	■サイクルフェスタ オリンピック自転車ロードレース出発地点の当公園が、大会の余韻をさらに後押しする、子供たちの自転車の魅力を伝えるイベントを実施した。	支出 ￥599,500	
14	武蔵野中央公園	■ナチュラルコンテナ・ガーデンショー 東京都が掲げる「エコ五輪」の理念に賛同し、また、既存花壇の自然な雰囲気を活かすため、ワイン箱や、コーヒー生豆を入れる麻袋“ドンゴロス”を二次利用したコンテナ・プランターを用い、寄せ植え教室を実施。審査会を経て、期間中に全作品を展示した。	支出 ￥863,414	
15	小宮公園	■小宮公園カフェ＊Day 前年度の「冬＊カフェday」の参加者からの要望を受け、今年度も12回開催し、地域の方の発案による新しいコーナーも実現。広報は最小限にとどめ感染拡大防止対策を重点的に実施。コロナ禍でも地域の声をしっかり受け止めて具現化したことで、利用者が望むゆったりとしたwithコロナのイベントを開催することができた。	支出 ￥172,273	
16	狭山公園	■ミュージックライブ 地域と連携した大型イベントに合わせてアーティストによる野外ミュージックライブを開催した。	支出 ￥800,000	

17	狭山公園	■里山シンポジウム 「里山の保全や活用」をテーマにゲストスピーカーを招き、トークセッションを行う他、狭山丘陵の楽しみ方を気軽に体験できる様々なワークショップを開催する。ビギナーが参加しやすいよう、屋外カフェスペースを設けて実施した。	支出 ¥1,000,000	
18	野山北・六道山公園、都立狭山公園、八国山緑地、東大和公園、中藤公園	■狭山丘陵フォトロゲイニング 狭山丘陵にある都立5公園と周辺地域をめぐるフォトロゲイニング(地図をもとに、チェックポイントを回り、見本と同じ写真を撮りながら、時間内に得点を集めるスポーツ)を地元自治体や施設、店舗等と連携して実施した。	支出 ¥450,000	